

---

第 376 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2018 年 7 月 13 日(金) 17 時 30 分～19 時 00 分

場 所: 実習館 2 階研究所セミナー室

演 者: 原田 英光 氏

岩手医科大学解剖学講座 発生生物・再生医学分野・教授

タイトル: エナメル芽細胞の分化と極性の制御機構, その破綻と歯科疾患  
について

エナメル上皮細胞は, エナメル質形成における細胞の分化過程で劇的な機能的・形態的变化を遂げる。しかし, それらは研究手法の限界から, 機能的変化と形態的变化とをそれぞれわけて研究が行われているのが現状であり, 機能と形態はリンクして変化するという原則を知っていてもその実体については十分に理解されていない。それは機能と形態を結びつける細胞内シグナルネットワークが明確に示されていないことが考えられる。経常的に成長するマウス切歯は上皮細胞の分化過程での機能的・形態的变化を観察する理想的モデルである。我々は細胞の極性を制御することで形態を維持すると同時に, エナメルタンパクの分泌を制御する細胞内シグナルネットワークとして **Semaphorin4D-RhoA-Akt** を発見した。このシグナル系の役割とその破綻に関連する歯科疾患について述べる。

*Matsumoto Dental University  
Graduate School of Oral Medicine*

1780 Gobara, Hirooka, Shiojiri,  
Nagano 399-0781, Japan

略 歴

昭和 62 年 九州歯科大学 卒業  
平成 3 年～平成 5 年 九州大学歯学部附属病院医員(第一口腔外科)  
平成 5 年～平成 6 年 日本学術振興会特別研究員  
平成 6 年 九州歯科大学助手 (口腔解剖学第二講座)  
平成 9 年 九州歯科大学講師 (口腔解剖学第二講座)  
平成 10 年 ヘルシンキ大学 客員研究員 (～平成 11 年3月)  
平成 12 年 九州歯科大学助教授 (口腔解剖学第二講座)  
平成 14 年 大阪大学大学院歯学研究科助教授  
平成 18 年 岩手医科大学歯学部教授(口腔解剖学第二講座)  
平成 23 年 医学部歯学部基礎講座統合により  
解剖学講座 発生生物・再生医学分野 教授  
平成 27 年 香港大学客員教授  
現在に至る

所属学会および社会活動

日本解剖学会会員 (評議員)  
歯科基礎医学会会員 (評議員, 歯科基礎医学会雑誌 Editorial Board Member)  
Frontier in Physiology (Associate Editor)  
Tripartite Conference on Tooth and Bone in Development & Regeneration  
(Organizing Committee member)  
歯の発生の会, 歯科再生会議, 歯胚再生コンソーシアム等の研究グループの運営など.

担当: 顎口腔機能制御学講座  
田所 治